

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

p-ペンチルフェノールのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号

A 0 0 0 4 8 1 - 3 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo. 211「オオミジンコ繁殖試験」（1998年）に準拠して実施した。

1) 被験物質： *p*-ペンチルフェノール

2) 暴露方式： 半止水式（毎日試験液の全量を交換）

水面をテフロンシートで被覆

3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)

4) 暴露期間： 21日間

5) 試験濃度（設定値）：

対照区，助剤対照区，0.0200，0.0600，0.150，0.430，1.20 mg/L

公比：約 2.8

助剤濃度一定：12 mg/L（ジメチルホルムアミド および HCO-60 使用）

6) 試験液量： 80 mL／容器

7) 連数： 10容器／試験区

8) 供試生物数：10頭／試験区（1頭／容器）

9) 試験温度： 20±1℃

10) 照明： 16時間明／8時間暗

11) 分析法： 高速液体クロマトグラフィー（HPLC）

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合が、±20%を超える値があったため、結果の算出には測定値の時間加重平均値を用いた。

2) 21日間暴露後の結果

親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) : 0.950 mg/L

(95%信頼区間 : 算出不可)

50%繁殖阻害濃度 (EC50) : 0.693 mg/L

(95%信頼区間 : 0.528~1.23 mg/L)

最大無作用濃度 (NOEC) : 0.135 mg/L

最小作用濃度 (LOEC) : 0.403 mg/L